

# ■準備編

AMD Socket AM5採用CPUのRyzen 9000シリーズをベースに構成したPCを、組み立てていこう。まずは、自作PCに必要なパーツなどを確認しよう。

## 01. 自作PCに必要なパーツ、工具などを用意する

### 今回、組み立てに使用したパーツ

#### CPU

##### Ryzen 9 9950X3D

■AMD

→ゲームに効く、大容量キャッシュに加え、16コア/32スレッドを搭載する最上位CPUの一角。



#### CPUクーラー

##### NAUTILUS 360 RS ARGB

■CORSAIR

→オールインワン水冷クーラー。高い冷却性能を発揮する360mmサイズラジエーターを搭載する。



#### マザーボード

##### B850 Pro RS WiFi

■ASRock

→Socket AM5プラットフォームとなるAMD B850チップセットを採用するATX規格のマザーボード。



#### メモリ

##### VENGEANCE 32GB DDR5

■CORSAIR

→Socket AM5で採用されたDDR5規格。Ryzen 9000シリーズは、DDR5-5600MHzに対応している。



#### ビデオカード

##### Radeon RX 9070 XT Challenger 16GB

■ASRock

→最新ゲームタイトルを楽しめるAMD Radeon RX 9070 XTを搭載する人気ビデオカード。



#### ストレージ(SSD)

##### WD\_Black SN7100 NVMe SSD 2TB

■Sandisk

→最大7250MB/秒の読み出し速度を発揮。PCIe4.0×4対応SSDの定番モデルのひとつとなる。



#### PCケース

##### FRAME 4000D RS ARGB

■CORSAIR

→組みやすさ、高エアフロー、構成を選ばない高い拡張性を備えた1台。LEDファンを標準搭載する。



#### 電源ユニット

##### RM1000x 2024 Cybernetics Gold ATX3.1

■CORSAIR

→人気のRMx 2024シリーズの容量1000Wモデル。本構成は750W～850Wで動作に不安はないが、余裕のある1000Wを選んだ。



#### OS

##### Windows 11 Home 日本語 リテール版

■Microsoft

→ライセンスが、ユーザーに紐づけられるため、扱いやすい。インストールUSBメモリが付属する。



### 組み立てに必須なものと、あると役立つものはこれ

#### 必須 プラスドライバー

→ドライバー先端のサイズは2番のほか、1番があるとスマートに組み立てできる。先端がマグネットになっているタイプがおすすめ。



役立つ  
★★★

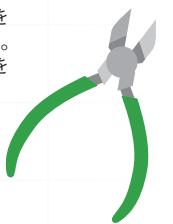
#### 精密、ナットドライバー

→ツールレス化が進んでいるが、M.2 SSDの取り付けに精密ドライバーが必要なマザーボードがある。ナットドライバー（対辺5mm、M2.5ネジ用）は、PCケースのスペーサーの固定にあると便利だ。

役立つ  
★

#### カッター、ニッパー

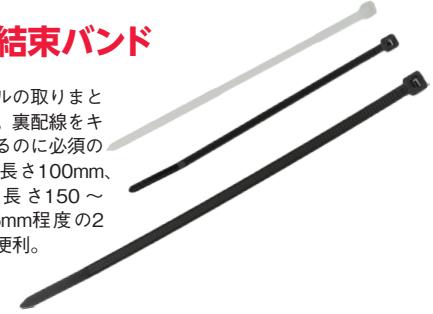
→カッターは梱包物を開封するのに使用する。ニッパーは結束バンドを切るために必要になる。



役立つ  
★★★

#### 結束バンド

→各種ケーブルの取りまとめに使用する。裏配線をキレイに仕上げるのに必須のアイテムだ。長さ100mm、幅2.5mmと、長さ150～200mm、幅5mm程度の2種類があると便利。



役立つ  
★★★

#### 静電防止手袋

→手の脂や汚れをパーツにつかないようにするとともに、作業中の怪我防止におすすめ。



役立つ  
★★★

#### ネジ入れ

→PCケース付属ネジなどを入れておくのに、便利。組み立て後のネジの保管にもおすすめ。豆皿（しょうゆ皿）など、家庭にあるものを流用するのもありだ。



役立つ  
★

#### 新聞紙・梱包紙

→作業中の絶縁、机に傷をつけないように、下に敷きたい。マザーボードの箱を作業台にする際にも使える。

